

商品撮影についてのお願い

デザイン作成の流れ

1



スマホやデジカメで商品写真をお客様ご自身で撮影。以下のポイントとテクニックをご参考ください。

2



弊社デザイナーがお客様からいただいた写真データを元にデザインを作成いたします。

3



券売機や自販機ラッピング、看板やチラシ・のぼり等、様々なデザインに使用します。

撮影のポイント、テクニック

※オプションで撮影を依頼することも可能です。

商品の全体を撮影する

■撮影写真



皿の外側まで十分な余白!



余白があるとデザインの幅が広がる!

商品の形やサイズ・色や質感・機能などが分かるように撮影します。全体像が写っていることでデザインの自由度が広がり、素材としての活用幅もより大きくなります。

ピントを合わせる

■撮影写真



全体を引きで撮るのがコツ!



メリハリがあると美味しく見える!

写真にメリハリが出て綺麗に見え、質感などの商品ディテールも伝わります。特に印刷物ではわずかなボケでも大きく目立つため、必ず焦点を合わせて丁寧に撮影してください。

フラッシュは使わない

■撮影写真



窓の近くなど、自然光がやさしく入る場所で撮影



商品の色味が正確に伝わる!

フラッシュを使用すると反射や不自然な影が発生し、商品の質感や色味が正しく伝わりにくくなります。自然光や安定した室内照明を使い、柔らかい光で撮影してください。

解像度をなるべく高く設定する

■撮影写真



ピントにも気を付ける!



高解像度で、様々な媒体に対応!

高解像度で撮影すると、拡大や印刷時でも鮮明さを維持でき、商品の細部や質感を正確に表現できます。スマホやカメラの設定をご確認ください。

■撮影データの必要容量 ・参考: iPhone15の標準カメラでの撮影は約3MB~5MB

小サイズ(10cm程度の券売機POP等)	中サイズ(A4サイズ程度のもの)	大サイズ(自販機等大型の印刷)
1MB程度 スマートフォンやデジタルカメラの 標準設定 で撮影した写真 	5MB程度 スマートフォンやデジタルカメラの 高画質設定 で撮影した写真 	可能であれば 10MB以上 一眼レフ等の 最高画質 で撮影した写真 